

牧之原市図書館基本計画 評価表

1 暮らしを支える専門サービス

凡例 A計画通り実施した B概ね計画通り実施した
C不十分な点がある D未着手である

No.	基本計画	目標	実施状況	自己評価	外部評価	外部評価コメント
1	専門サービスを保障する人員体制の確保	専任館長の設置と司書資格を有する 職員を確保する。 運営の根幹業務は教育委員会が直接管理し、臨時職員等の業務についても正規職員が指導・管理する。	令和7年度から専任館長を設置、会計年度任用職員(事務6人)については、7時間勤務になり業務時間が45分減少した。 令和8年度は、図書館職員3人が有資格者となる。 また、会計年度任用職員は、(有資格者1人増、事務1人減)となり、総数は変わらない。	A	A	
2	図書館サービスを向上させるための職員研修の実施	図書館職員全員での全体研修や、県立中央図書館が行う図書館研修に参加し、スキルアップを図る。	毎月、第3金曜日の図書整理休館日に図書館サービス向上のための全体ミーティングを実施し、課題と情報共有をしている。 外部の図書館研修は、概ね2年に1度は図書館職員全員が参加できるよう計画している。	A	A	
3	市民の「知りたい」に応える資料の収集・提供	・資料の継続的な収集(12万冊以上) ・多様な媒体の資料や高齢者や外国人、障害を持つ人等への資料を収集・提供する。 ・郷土資料の網羅的な収集する。	書籍購入価格の増高により、これまでと同額の予算では予定冊数を購入できない。一方、雑誌スポンサー制度を含む寄贈図書の受入を積極的に行っている。 令和7年度、培本塾図書館の閉鎖により郷土資料207冊を受け入れた。	B	B	・いろ葉の書架スペースに課題 ・面出し等、レイアウトの工夫をしてほしい ・書籍単価上昇による資料の確保検討 ・寄贈図書の受入はできている ・郷土資料を活用してほしい
4	レファレンスサービスの実施	利用者の求めに応じて、適切な資料や情報源と結ぶレファレンスサービスの実施する。	適切なレファレンスサービスを実施している。 令和8年度から簡易レファレンスのデータベース化にも取り組んでいる。	A	A	・職員に話しかけやすいようPOP等工夫してほしい ・受付数としては伸びている
5	図書館機能の周知	図書館利用のオリエンテーションや調べ方講座、利用に関するマナーの啓発を行う。	令和7年度、新規利用者カードを作成した方へ、必要な事項を的確に伝えるために「かんたん利用案内」を作成した。 また、外国人利用者のために利用案内パンフレットの多言語化(英語、ポルトガル語)や、やさしい日本語版を作成した。	B	B	

6	子ども読書活動の推進	・子どもの発達段階に応じた資料の充実を図る。 ・施設の安全に配慮 ・保護者への育児情報の提供 ・子ども読書活動推進計画の策定	司書による選書会議において、一般書と児童書とそれぞれ選書をして資料を収集している。 画びょうによる掲示を廃止し、セロテープ又は磁石による掲示に変更した 毎月開催しているブックスタート事業に図書館職員が参加し、情報交換や児童書情報などを提供している。 令和7年度には、子育て世代や小中高生へのアンケートを行い、時代に即した子ども読書活動推進計画(第2次)を策定した。	A	A	・子ども読書活動推進計画と連動した推進に期待する
7	企業や地域ビジネスに役立つ情報の提供	ビジネス支援コーナーの設置し、関連情報の充実を図る。	図書館内に「わたしたちの月3万円ビジネス(3ビズ)」コーナーを常設し、関連資料も展示した。3ビズについては、図書館イベントへの出店も協力した。 市施策の「おかえりプロジェクト」と連携し、企業や就職情報などの企画展示を行った。 令和7年度、商業振興のため、「まきペイ」プリペイドカード販売機を設置した。	A	A	
8	移動図書館「ひまわり号」の巡回	ひまわり号の運行を行い、巡回先の変更を含めサービスの向上を図る。市内小学校全校への巡回を継続する。	ひまわり号の運行を年間通して実施し、必要に応じてコースの変更も行った。市内小学校への巡回も継続した。	A	A	・公民館まつりへの出張は地域の多世代が集まる場のためとてもよい

2 であいを創る交流・憩いの場

凡例 A計画通り実施した B概ね計画通り実施した
C不十分な点がある D未着手である

No.	基本計画	目標	実施状況	自己評価	外部評価	外部評価コメント
1	利用しやすい開館時間・開館日	多くの市民が利用しやすい開館時間への配慮や、土・日・祝日開館の継続する。	閉館時間を平日午後7時まで、土・日・祝日の開館を継続した。令和7年度は、システムの更新及び蔵書点検で18日間(年末年始を含む)休館をしたため、学習室の利用が制限されてしまった。	A	A	
2	交流・学びの場の提供	・新たな学びや体験が生まれるきっかけづくりへの寄与 ・会話をしやすいエリアと静かに読書等ができるエリアを適切に管理する。	季節のイベントの実施や講座の開催など、学びの機会づくりと図書館を身近に感じてもらう取組みを継続している。 令和7年度からクーリングシェルの指定を受け、夏季の居場所として機能させた。	B	A	・交流や学びの場の提供のため努力する姿勢を感じる ・季節のイベント等、年間を通した取り組みも見られる

3	多様性(ダイバーシティ)と包摂性(インクルージョン)の推進	ユニバーサルデザインの採用、サインへのピクトグラムの活用、利用案内やパンフレットをやさしい日本語や多言語で提供する。	令和7年度、図書交流館いこっと内に新たにりんごの棚コーナーを設置(文化の森図書館いろ葉は設置済) また、寄贈を受けた読書拡大機を設置し、視覚障がい者への利便性を高めた。(図書交流館) また、外国人利用者のために利用案内パンフレットの多言語化(英語、ポルトガル語)や、やさしい日本語版を作成した。	A	A	
4	各種講座・イベントの実施	資料への理解や新しい発見や体験ができるようなイベントの企画、知識や本の魅力を伝える講座等の実施する。	毎月、季節のイベントを実施する以外にも大人の学び講座や体験イベントを開催し、関連書籍の展示も行った。	A	A	
5	魅力ある企画展示の実施	多様な企画展示を毎月実施し、利用者が新たな発見をする機会を提供する。	各館それぞれ季節や時節にあった企画展示を複数実施した。 令和7年度から「話題の時事」に関連した司書おすすめ本コーナーを常設した(図書交流館)	A	A	・いこっと、いろ葉それぞれの展示を交流させることで、作業量を抑えながら充実してほしい

3 あなたと図書館をつなぐネットワーク

凡例 A計画通り実施した B概ね計画通り実施した
C不十分な点がある D未着手である

No.	基本計画	目標	実施状況	自己評価	外部評価	外部評価コメント
1	市民協働の図書館づくり	市民団体「よもーね！マキノハラ」と連携し、市民意見を聞きながら市民協働で図書館づくりを進めていく。	よもーね！マキノハラ所属団体と連携し、毎月のおはなし会やイベントへの参加を行っている。 図書館サポーターには、ベルマークや資料、書架の整理など支援をいただいている。 一方、図書館ボランティアへ関わる方の減少や世代交代が進まず、図書館に係る市民協働の今後について道筋が見えない。	C	B	・世代交代を見据え、子育て世代にも知ってもらう機会を作してほしい ・ボランティア対象の講座を開催したらどうか ・花壇整備やゆうゆうらんどイベント等、市民協働での取り組みがなされている
2	官民で連携した取り組みの実施	民間のノウハウや資源を活用したイベント企画や、雑誌スポンサー制度を活用した民間企業等の情報発信を行う。	雑誌スポンサー協賛企業の情報発信や広報紙による周知などを行っている。また、市民の方を講師に迎え講座の実施やイベントの開催を実施した。	B	B	・多くの企業が雑誌スポンサーとして協力してくれることには大きな意義がある
3	ICT機器の活用	市民サービスの向上の新進事例等を研究しながら既存機器の適切な維持管理と更新を行う。 デジタル技術を活用したサービスの検討及び導入。	令和8年1月に図書館システムや機器の更新を行った。また、Webシステムの機能向上を図り、予約システムやスマホのカード表示など利用者の利便性を高めた。	A	A	

4	多様な情報発信	広報紙、図書館HP、市公式LINE、SNS など紙媒体やデジタルを活用した情報 発信やイベント等の周知を行う。	イベントや図書館情報の発信をInstagramで 行った(令和8年6月13日現在、フォロワー数779 人) 講座やイベント参加者の応募については、QRコ ードからのWeb申込みの受付したり、子ども読書活 動推進計画の策定時には、高校生を対象にWebア ンケートを実施し、デジタルを活用した情報発信や 手続の簡素化を行った。	A	A	
5	生涯学習との連携	生涯学習活動団体「まきのはら塾」等に 資料提供をしたり、その活動情報をお知 らせする。また、講師等を招聘し講座等を 開催し、生涯学習の楽しさを体験しても らう。	図書館主催の講座の講師にまきのはら塾の先生に 依頼をしたりして、生涯学習を意識した事業実施 を心がけた。	B	B	・年代等、対象に応じた細やかな配慮をお 願いたい
6	学校との連携強化	調べ学習等の資料を充実させると共に 学校向け団体貸出を行う。 学校司書連絡会に図書館職員を派遣し、 情報交換をする。 図書館見学や職業体験等を受け入れる。	学校からの依頼により、調べ学習や修学旅行の参 考資料などを団体貸付した。 学校司書連絡会には必ず司書が参加し、情報交換 や相談について対応した。 小学校2年生を対象に図書館見学を受入れ、図書 館利用者教育に寄与した。	A	A	・小さな子どもだけでなく中高生向けの広 報やイベントの推進 ・体を動かす講座と図書館資料を組み合わ せ興味を引く ・学生に本を紹介するPOP作りをしてもら い展示する
7	市の施策との連携	郷土資料の一部として行政資料等を収 集、利用者へ提供する。 市各部署と連携し、施策に関連したイベ ントや図書館資料の展示を実施する。	広報紙や統計書、各種計画書を収集し、地域資料 として利用者に提供した。 市各部署や関連団体と連携し、連携企画展示に協 力した。	A	A	